

上越サイエンススタディ『発酵 WEEK』

7月8日(月)～12日(金)の一週間、1学年の生徒を対象に『発酵 WEEK』が設けられました。期間内には多目的スペースに発酵ブースが設けられ、様々な発酵食品、それに関わる書籍や映像が展示されました。各教科で『発酵』をテーマに様々な授業を展開し、一つのテーマに対して色々な分野からのアプローチが可能であるということ学びました。

7月12日(金)には、甘酒づくり実験や坂口博士の業績に関するDVD鑑賞、発酵に関する講演会が実施されました。講演会には上越教育大学より、光永伸一郎先生をお招きし、『発酵と酵素とこうじ菌』をテーマに発酵のメカニズムや、発酵食品の例として全国各地のみそを紹介していただきました。

「発酵のまち上越」ということで、「発酵」は本校 SSH の大きなテーマでもあります。文系、理系様々な観点から発酵について学ぶ、充実した一週間となりました。



☆発酵ブースにて展示した『菌類・細菌類擬人化コンテスト』の作品☆



未来展望セミナー

キャリア教育の一貫として、7月16日(火)には、未来展望セミナーが1年生を対象に開講されました。「社会で活躍している先輩の話から、キャリアについて考える」というねらいのもと、本校卒業生の岡田果純さん、古川泰司さんの2人をお招きし、ご講演をいただきました。生徒からのたくさんの質問にも丁寧に答えて頂き将来について考える良い機会となりました。



～生徒の感想より～

- ・自分の興味がある方へとにかく進んでいこうと思いました。自分の憧れ、やってみたくいことに、とにかく挑戦してみるということを今後の進路選択で生かしていきたいです。
- ・『若い時の憧れが未来をつくる』という言葉から、何を今しているかで未来が決まってしまうんだ、と少し緊張感のようなものを与えられました。